

1. 2020年度 健康診断事業の実施状況

2020年4月1日から2021年3月31日までに実施した健康診断の受診者総数は871,473人であり、今年度は対前年度比94.8%と新型コロナウイルスの影響で減少した。

また、定期健康診断の受診者数は340,017人で前年より27,099人(前年比7.4%の減少)であった。(表1)

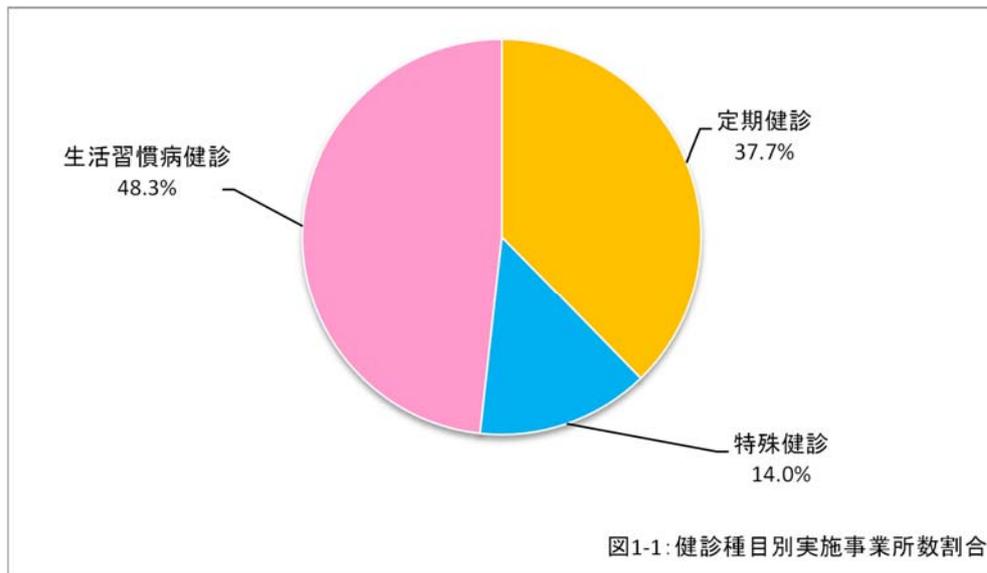
表1: 健診種目別件数

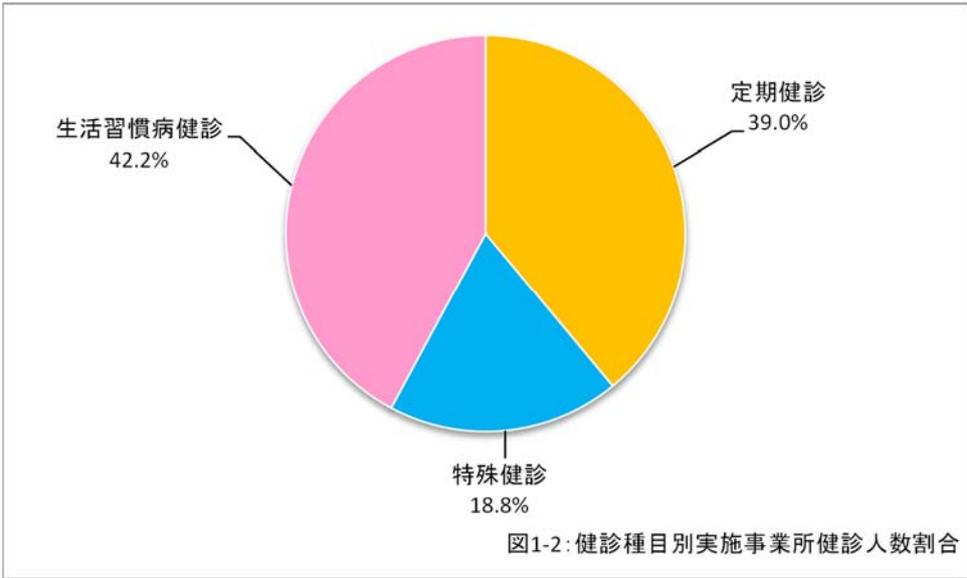
	事業所数	健診人数
定期健診	23,164	340,017
特殊健診	8,611	163,948
生活習慣病健診	29,633	367,508
合計	61,408	871,473

2020年度の健康診断種目別割合は、事業所数では生活習慣病健診48.3%、定期健診37.7%、特殊健診14.0%となっている。(図1-1)

一方、健診人員で見ると、生活習慣病健診42.2%、定期健診39.0%、特殊健診18.8%であり、生活習慣病健診、定期健診は共に約4割前後の受診であった。(図1-2)

*各図表の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。





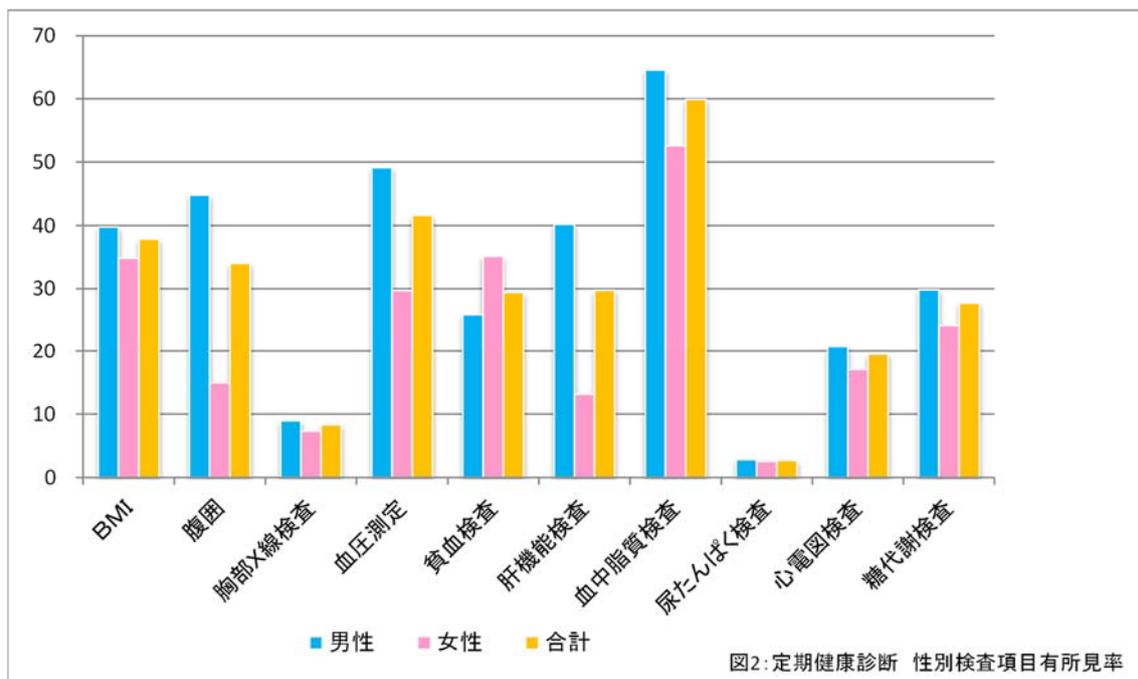
2. 2020年度 健診項目別有所見率について

労働安全衛生法における定期健康診断の必須項目である身体検査（BMI）、血圧測定、尿検査等の実施者が多く、ほかの健診項目別の実施状況においては（表 2-1、2-2）の通りである。

性別、健診項目別に有所見率をみると有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で59.9%であり、次いで血圧測定41.7%であった。（図2）

	受診者	有所見者	有所見率
BMI	339,423	128,628	37.9%
腹囲	296,191	100,780	34.0%
胸部X線検査	278,190	23,129	8.3%
血圧測定	339,080	141,251	41.7%
貧血検査	293,905	86,488	29.4%
肝機能検査	302,032	89,887	29.8%
血中脂質検査	297,122	178,076	59.9%
尿たんぱく検査	33,7869	9,162	2.7%
心電図検査	270,037	52,659	19.5%
糖代謝検査	332,162	92,041	27.7%

	男性	女性	合計
BMI	82,919	45,709	128,628
腹囲	84,763	16,017	100,780
胸部X線検査	15,357	7,772	23,129
血圧測定	102,429	38,822	141,251
貧血検査	47,153	39,335	86,488
肝機能検査	74,496	15,391	89,887
血中脂質検査	117,390	60,686	178,076
尿たんぱく検査	5,985	3,177	9,162
心電図検査	36,139	16,520	52,659
糖代謝検査	61,675	30,366	92,041



また、生活習慣病健康診断の性別、健診項目別に有所見率をみると、有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で64.7%次いで血圧測定46.4%であった。(表3-1、3-2)

性別において男女ともに高いのは血中脂質検査(男性68.5%、女性57.4%)であり、男性で高いのは血圧測定(男性52.4%、女性34.9%)、肝機能検査(男性45.7%、女性18.2%)、痛風検査(男性25.7%、女性2.6%)などであり、逆に女性が高いのは腎機能検査(男性12.4%、女性24.6%)であった。(図3)

	受診者	有所見者	有所見率
血圧測定	361,365	167,705	46.4%
心電図検査	356,801	68,230	19.1%
胸部X線検査	358,561	37,386	10.4%
胃部X線検査	119,801	41,638	34.8%
眼底検査	86,949	10,865	12.5%
血液一般検査	360,087	143,116	39.7%
肝機能検査	360,696	130,833	36.3%
血中脂質検査	360,532	233,120	64.7%
糖代謝検査	361,312	132,278	36.6%
痛風検査	292,096	52,237	17.9%
腎機能検査	358,884	59,436	16.6%
便潜血検査	226,184	12,114	5.4%

	男性	女性	合計
血圧測定	124,393	43,312	167,705
心電図検査	47,864	20,366	68,230
胸部X線検査	26,584	10,802	37,386
胃部X線検査	28,407	13,231	41,638
眼底検査	7,960	2,905	10,865
血液一般検査	87,954	55,162	143,116
肝機能検査	108,254	22,579	130,833
血中脂質検査	162,182	70,938	233,120
糖代謝検査	94,221	38,057	132,278
痛風検査	49,689	2,548	52,237
腎機能検査	29,435	30,001	59,436
便潜血検査	8,827	3,287	12,114

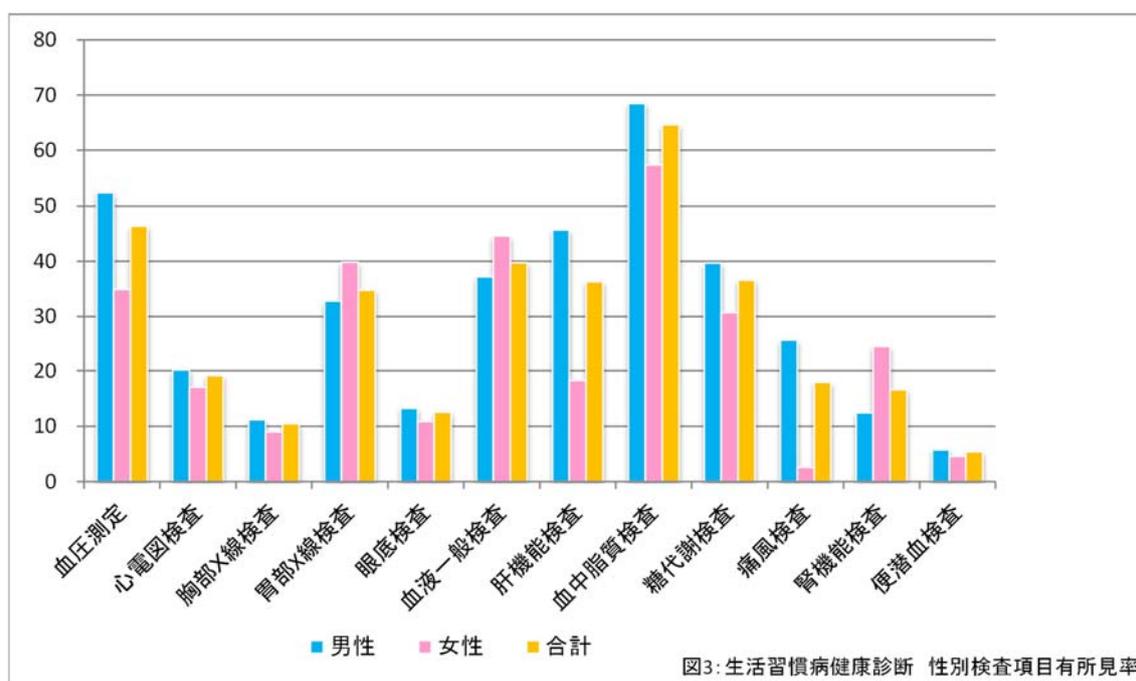
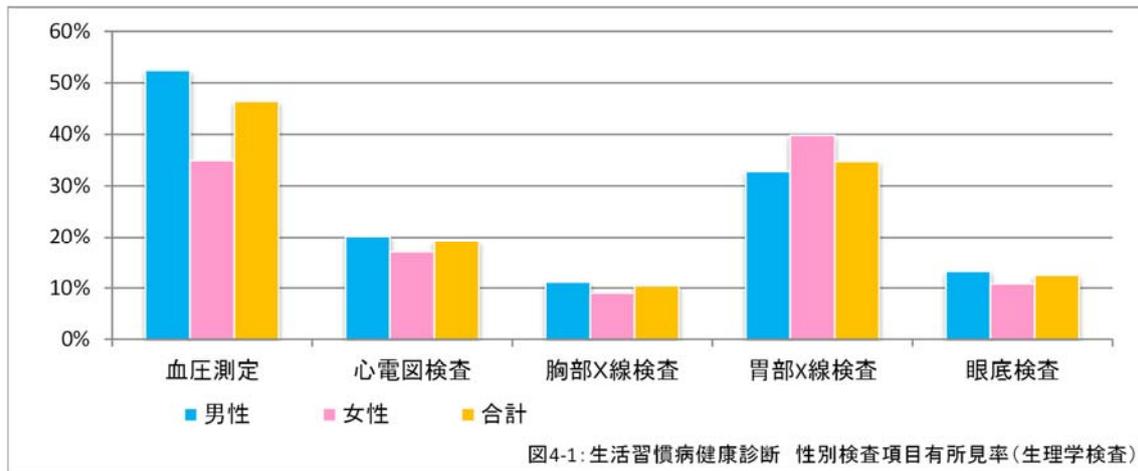
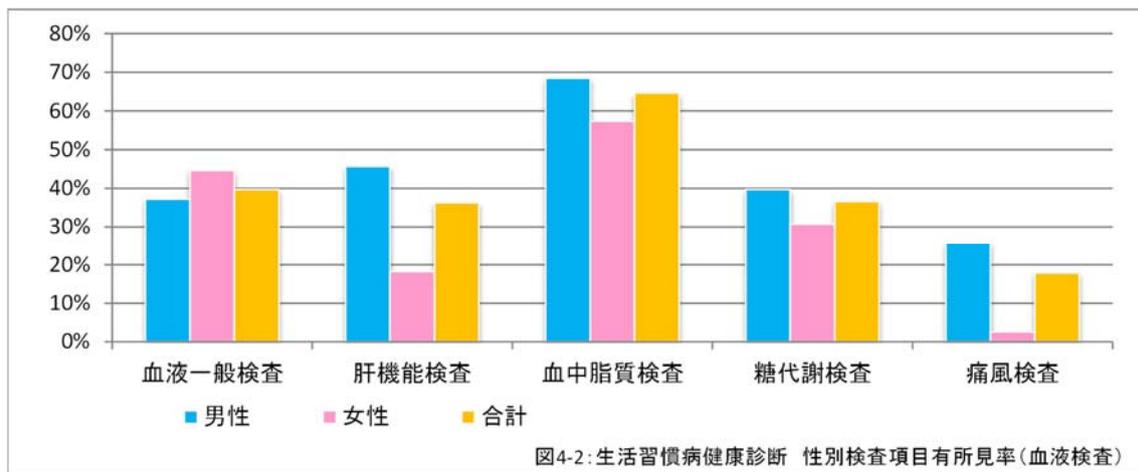


図3: 生活習慣病健康診断 性別検査項目有所見率

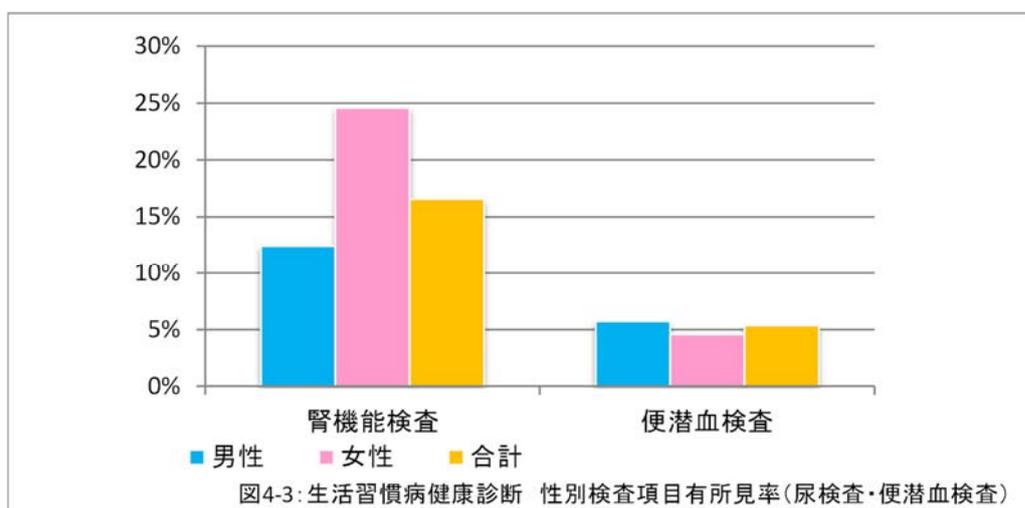
生活習慣病健康診断において、生理学検査で有所見率が最も高いのは血圧測定（男性 52.4%、女性 34.9%）であり、次いで高いものは胃部 X 線検査（男性 32.8%、女性 39.8%）であった。（図 4-1）



血液検査で有所見率が最も高いのは男女ともに血中脂質検査（男性 68.5%、女性 57.4%）であり、過半数を占めている。次いで高いものは男性で肝機能検査（45.7%）、女性で血液検査一般（44.6%）であった。（図 4-2）



尿検査、便潜血検査では、有所見率は腎機能検査が高く、男性 12.4%、女性 24.6%であった。女性に関しては、男性の約 2 倍と有所見率に大きく差が見られた。（図 4-3）



3. 2020年 作業環境測定の実施状況

2020年に作業環境測定を実施した事業場の総数は、977事業場で首都圏を中心に北海道から大阪まで、1都1道1府19県に及んでいる。作業環境測定を実施した単位作業場所の延べ数は、6,810事業場所で、前年と比較するとコロナ禍の影響を受け、454単位作業場所の減少となった。実施項目別の延べ場所数については、表4に示す通りである。

表4：作業環境測定実施項目別の延べ作業場所数							
	有機溶剤	粉じん (石綿を除く)	石綿	非金属類	金属類 (鉛を除く)	鉛	騒音
合計	2,697	1,164	0	2,083	382	16	468
対前年増減数	▲ 284	▲ 41	0	▲ 82	▲ 42	0	▲ 5

実施項目別の状況では、有機溶剤が全体の39.6%、非金属類が30.6%、粉じんが17.1%で、この3項目を合計すると実施全単位作業場所の約90%を占めている。(図5)

